

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・近隣にマンションが立ち並び、夜間人口が増えてきているので、これから夏場に向けて酒類の利用客が増える。
		旅行代理店（店長）	・海外旅行、国内旅行ともに先行受注が多く、先行きに大きな期待が持てる。
		通信会社（経営者）	・案件の成約率が高まっているほか、顧客の投資に対する意欲も前向きであることから、先行きの見通しは明るい。
		その他レジャー施設 [ 球場 ]（企画担当）	・フランチャイズ球団の成績が不振で来客数が低迷しているが、今後は持ち直し、来場者数が増加すると見込まれる。また当年度は比較的事件が多い模様であり、プロ野球以外でも集客が期待できる。
やや良くなる		一般小売店 [ 衣服 ] （経営者）	・近隣に大型マンションや商業施設も建つなど周辺環境が良くなり、集客力の高い駅前商店街となったので、先行きは明るい。
		百貨店（売場主任）	・家計消費で一番最後に動きが現れるという高額の紳士服や時計など紳士関連の商品に動きが出てきたため、先行きに期待している。
		スーパー（広報担当）	・消費税の総額表示の影響がどの程度残るかにもよるが、ハレの日を中心に客のニーズにあった商品をタイムリーに提供すれば、客の買上点数は増えることが期待される。
		コンビニ（店長）	・既存店は特殊要因を除いても前年を上回る店舗数が増加してきた。今後消費が大きく落ち込む要因は少ない。
		家電量販店（経営者）	・前年が冷夏であったこと、アテネオリンピックによる薄型テレビなどのデジタル商品の売上増への期待から、先行きの見通しは明るい。
		家電量販店（経理担当）	・今後2～3か月先は、エアコン等のいわゆる夏物商戦真っ盛りの時期であり、オリンピックイヤーによるデジタルAV機器の売上も見込めることから、良くなるを期待している。
		家電量販店（企画担当）	・オリンピックやプロ野球などスポーツ観戦が多くなり、インターネットへの人気が高まることによるパソコン需要を始め、薄型テレビ需要などデジタル関連に期待がかかる。
		乗用車販売店（経営者）	・最近、新車に乗り換える客が増えていることから、先行きに期待できる。
		自動車部品販売店（従業員）	・今後は6月、7月のボーナス商戦での顧客動向が注目される。企業格差はあるが、賞与額も増加に転じていることから、先行きに期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は伊丹空港の増便による客室乗務員の宿泊増加という特殊要因もあるが、ビジネスを中心とした個人客が順調であるほか、一時的な低価格競争が一段落していることから、先行きに期待される。
		タクシー運転手	・流し営業での乗客が微増傾向にあることなどから、今後企業関係の需要が回復するのではないかと期待が持たれる。
		通信会社（社員）	・県内の大型ショッピングセンターが出店ラッシュにあり、そのうちの1店舗で実験的な出店を試みたが、非常に良い感触を得ている。来客数も非常に多く、今後の認知度アップに大きな効果が期待される。
		その他サービス [ ビデオ・CDレンタル ] （エリア担当）	・最近、爆発的に売上を伸ばしている店舗が増えつつあることから、先行きに期待が持てる。
		その他住宅 [ 展示場 ] （従業員）	・客からのフェアイベントについての問い合わせが例年より多い。やはりまだまだ近所のテーマパークに足を運ぶ人は多いと感じることから、先行きに期待できる。
		その他住宅 [ 情報誌 ] （編集者）	・近畿圏でも大型マンションや超高層マンションの計画が次々と発表されており、4～5月期は若干計画の先延ばしが見受けられたが、夏までかなりの計画が発表されており、供給量の増加によるマーケットの活性化が期待できる。
		変わらない	
一般小売店 [ 時計 ] （経営者）	・世界的に大きなイベントがあると、買物に出かけるよりも家でテレビを見るという傾向にあるが、今年はオリンピックの年であり非常に危惧している。		
一般小売店 [ 野菜 ] （店長）	・周りでは閉店するところも増えており、客の購買意欲も低いことから、今後も厳しい状況が続く。		

	百貨店（売場主任）	・SARS流行の懸念から国内での消費が増えれば、観光都市に立地する百貨店であるため、フリー客による売上の底上げが期待できる。また、最近では気候が緩やかに変化しており、消費動向が比較的予想しやすく、販売促進策も考えやすいことから、引き続き今後に期待できる。
	百貨店（売場主任）	・本来の百貨店の中心であるボリュームゾーンがまだまだ悪く、外商関連もいまだに不調業種のワーストにランクしていることから、これ以上悪くはならないが、良くもならない。
	百貨店（売場主任）	・近隣競合店の閉鎖、当店の一部改装等、環境は従来より良くなる傾向にあるが、ヒットアイテムの不足や即効性のある具体的な対策がなく、先行きに期待は持てない。
	百貨店（企画担当）	・今のところ、需要を喚起するようなヒット商材は期待できず、一進一退の状況が続く。
	スーパー（経営者）	・競合店が商品の品ぞろえを充実させ価格も下げているので、この先も厳しい状況が続く。
	スーパー（店長）	・来客数は増加傾向にあるが、1人当たりの購入単価は上がらない。最近の状況からも、これを打開する糸口が見当たらないことから、先行きに期待はできない。
	家電量販店（営業担当）	・オリンピックの年なので薄型テレビの販売量が増えると予想される。ただ、高額であるため現金での購入が難しい状況であるが、現状はクレジット件数が伸びていないことから、売上アップは難しい。
	乗用車販売店（営業担当）	・今後3か月間は特に新型車の発表もなく、話題性に乏しいことから、状況は変わらない。
	住関連専門店（経営者）	・従来型の既存の飲食店の業績は必ずしも改善している様子がないので、将来見通しについては不透明である。
	観光型ホテル（経営者）	・客からの値下げの要望がまだまだ多いことから、厳しい状況が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・ロータリークラブの世界大会の開催を始め、昨年のSARSの影響で大きく落ち込んでいたこともあり、海外からの観光客の増加が見込まれる。
	旅行代理店（広報担当）	・7月に控えている参議院選挙の影響で、人の動きが鈍くなることが懸念される。
	通信会社（経営者）	・春の新入学、新社会人向けキャンペーンが一段落し、次の夏の売出しまで市場を盛り上げる要因が少ない。また、目立った新商品の投入も見当たらないことから、厳しい状況が続く。
	競輪場（職員）	・7月は本場開催の客単価が前年よりも低下すると予想されるが、場外開催の客単価は前年と競走のグレード等が似ているので、トータルで見ると変わらない傾向にある。
	住宅販売会社（経営者）	・案件が増加し、地価の底値感が広まっているものの、これが持続して売買取引の活性化につながるとは判断しにくい。しばらくはこのまま様子見が続くことが予想される。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅では、建築費、土地価格等のコストが上昇傾向にあるが、上昇部分を販売価格に転嫁した場合の影響が明らかでないなど、先行きの見通しは不透明である。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・客の通行量は少なく買物に慎重であることから、地場産業はまだまだ悪い状況が続く。
	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・例年夏枯れの時期となり、福祉関係の案件も一段落することから、先行きの見通しは厳しい。
	一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	・歳暮商戦の苦戦がそのまま今まで続いていることから、先行きにも期待できない。
	百貨店（サービス担当）	・参議院選挙が7月に実施されることから、中元商戦は大変苦戦することが予想される。また、6月初めから中元商戦の前哨戦としての早期割引や無料配送等のサービスを始めるが、購買単価の低下傾向は依然進むと予想されることから、先行きの見通しは厳しい。
	スーパー（経営者）	・消費税の総額表示による逆風はしばらく続くことから、先行きの見通しは厳しい。
	衣料品専門店（経営者）	・近隣に競合店が増え、売上が低下していることから、先行きの見通しは厳しい。
	通信会社（経営者）	・徐々に新規開発案件は減少していく方向になると思われることから、先行きの見通しは厳しい。
悪くなる	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・石油等の原料コストは上がっているが、製品価格は下がったままであることから、先行きの見通しは非常に厳しい。

企業 動向 関連	良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・クライアントの動きから、大企業のリストラもある程度成果がみえてきて、新しい設備投資が活発になってきていることを感じるため、先行きの見通しは引き続き明るい。
		広告代理店（従業員）	・各ショッピングセンターとともに、飲食関係が前年水準を下回るところが多かったが、これからの持ち直しに期待が持たれる。
	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・食品業界は販売先が限られてきているので、値引き交渉等はまだまだ厳しいものの、受注も少しずつ増えており、先の商談も思ったように進んでいることから、先行きに期待できる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先に値上げが受け入れられる方向であることから、先行きに期待が持てる。
		化学工業（経営者）	・売上が伸びている得意先の数がかここきて増えてきており、それに伴い当社の売上も急激に良くなってきていることから、先行きに期待が持てる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・銀行の融資が積極的になってきたことから、先行きに期待が持てる。
		金属製品製造業（営業担当）	・取引先の販売計画が前年よりも上乘せられていることから、先行きに明るさを感じる。
		電気機械器具製造業（従業員）	・オリンピックを前に、高性能の薄型テレビやDVDレコーダーの需要が一段と高まることが期待される。
		金融業（支店長）	・製造業の新規設備投資が増えるなど、今後の需要増加を見込んだ動きが出始めており、先行きに期待できる。
		不動産業（経営者）	・本格的な出店はまだこれからであるが、今まで新規開店、店舗移転を控えてきた業者が、今後動き始めると期待される。
	その他サービス業〔イベント企画〕（経営者）	・全体的に物件が増え、愛知万博に関する物件にも徐々に動きが出てきていることから、先行きが期待される。	
変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の動きは良くなってきているものの、価格などは以前のままであり、個別には苦しい状況が続いている。また、ユーロ高による利益の減少懸念もあることから、厳しい状況が続く。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注量、売上高はやや増加すると期待されるが、原材料の価格アップが収益悪化要因になることが懸念される。	
	建設業（経営者）	・神戸の景気はまだまだ厳しいため、地元建設業界の景気回復はかなり先になると予想される。	
	不動産業（営業担当）	・当社の営業圏内では、神戸中心部のマンションの需要はあるが、それ以外の需要は極端に少なくなっていることから、全体的な改善には期待できない。	
	司法書士	・不動産登記に関して、新規融資による設定や売買等が若干あったが、この動きが継続するかどうかは分からない。	
	コピーサービス業（従業員）	・主力取引先へのヒアリングでは、製菓業を始めとする医療関係や教育関係からはおおむね前年並みまたは拡大傾向との回答があった。しかし、広告代理店やIT関連企業からは軒並み縮小傾向との回答があったことから、現状維持が予想される。	
やや悪くなる	建設業（社員）	・将来の受注につながる具体的な情報が今のところ少なく、先行きが不透明である。	
	輸送業（営業所長）	・今は春夏物の繊維製品等が動いているが、これから夏場にかけて繊維製品の動きが鈍くなることが予想されることから、先行きには期待できない。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・企業の正社員の雇用に対する意欲を感じる。
		人材派遣会社（社員）	・本格的に採用人数が回復基調になり、長期的な受注も増加している。今後、大幅なリストラは予想しにくく、逆にスキルのある人材確保が難しくなる傾向に変わる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告に関する企業からの問い合わせ件数が増えている。掲載に対する反響も好意的なものが多く、今後しばらくは前年を下回ることはないと思われる。
		職業安定所（職員）	・適職を探すという転職者の増加傾向が出てき始め、今後、スキルの高い人がこの流れに乗ってくると予想されることから、先行きに期待できる。
	職業安定所（職員）	・来年度新卒者の求人申込に関する問い合わせが増加してきていることから、先行きの見通しは明るい。	

	民間職業紹介機関（支社長）	・4月が予想以上に落ち込まなかったことで、相当中途採用の意欲は高まっていると感じている。この勢いは秋まで続くと期待される。
	学校〔大学〕（就職担当）	・大手企業だけでなく、中小企業においても採用意欲が上昇し、優秀な人材の獲得に向けて動き出していることから、先行きに期待できる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・昨年度に比べて、就職活動をする学生たちの表情が明るく、全体に雰囲気も和らいでいることから、先行きに期待できる。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・相変わらずパート、アルバイト、派遣社員などを採用する企業が多く、正社員を増やす企業が少ないことから、厳しい状況が続く。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-